

授業科目名	幼児と表現	担当教員名	河野 佑美 / 白波瀬 達也
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	領域及び保育内容の指導法に関する科目・領域に関する専門的事項 表現 / 保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (15時間)	授業方法/担当形態	演習 / オムニバス
開講学年/学期	2年 前期 (1期) / 年間開講数 1講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	領域「表現」のねらい及び内容を理解するために、子どもの表現活動に関する発達過程を踏まえて学習します。子どもたちが感じたことや考えたことを自分なりに表現することや、豊かな感性や表現する力を養うための知識、技能を身に付けます。(アクティブラーニングとしてグループワークを取り入れる) ※ICTの活用、協働学習を含む。		
到達目標	(1)幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解する。 ①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ②領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 ④領域「表現」において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。 (2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。 ①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ②領域「表現」の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 ⑤領域「表現」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。		
テキスト	<河野>自主プリントを配布し、毎回プリントを利用しながら授業を進める。 <白波瀬>「幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材」樋口一成編著（萌文書林）		
参考書・ 参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社） <河野>「うたって、つくって、あそぼう 幼児のための表現指導」幼児表現教育研究会 編著（音楽之友社）		
成績評価の方法	<河野>レポート・提出物（70％）、受講意欲・態度（30％） <白波瀬>ワークシートにまとめ、学びの過程を評価（60％）、自ら課題を発見し積極的に取り組む授業参加度（40％）		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	<白波瀬>事前学習はシラバスに記載している内容を確認し準備しておく。事後学習は授業内容をふりかえりワークシートにまとめおく。授業に関する質問は授業前と授業後に受け付ける。		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	領域「表現」における音楽表現の位置づけ・保育士としての目指すべき姿の理解 / 聴く・作る活動① 聴く活動における年齢別の発達段階を知る。音で何かを表現する方法を考える（担当：河野）		(1)-①,(1)-②,(1)-③,(2)-①,(2)-②
第2回	聴く・作る活動② 様々な音を用いた表現の事例を知る（担当：河野）		(2)-①,(2)-②,(2)-③,(2)-④,(2)-⑤
第3回	歌う・作る活動① 歌う活動に関する年齢別の音楽表現や身体の発達の知識を深める（担当：河野）		(1)-②,(2)-②,(2)-③,(2)-⑤
第4回	歌う活動・作る活動② 歌う・作る・遊ぶ事例を体感し、理解を深める / 総括 ※情報機器あるいは視聴覚教材の使用（担当：河野）		(2)-②,(2)-④,(2)-⑤
第5回	乳幼児の造形について 保育指針、幼稚園教育要領、領域「表現」のねらい及び内容の理解する。（担当：白波瀬）		(1)-①,(2)-①
第6回	乳幼児の造形表現の発達の理解ためにICTの活用 ICTを活用した乳幼児の造形表現活動を画像などや事例から造形の発達過程を中心に理解を深める。（担当：白波瀬）		(1)-①,(1)-④,(2)-①,(2)-②
第7回	造形の素材について 乳幼児の造形表現活動で用いる素材の事例を基に理解を深める。（担当：白波瀬）		2 -(4)
第8回	造形の用具について 乳幼児の造形表現活動で用いる用具の事例を基に理解を深める。（担当：白波瀬）		2 -(4)